



人権問題県民意識調査から考えよう

(平成28年度鳥根県人権問題県民意識調査より)

鳥根県人権啓発推進センター

一人一人が大切にされる社会に向けて (鳥根県人権問題県民意識調査から)

平成28年9月に鳥根県が実施した鳥根県民意識調査から人権問題について考えてみましょう。

過去5年間で差別や人権侵害の体験がある人が約15%
場所は職場や地域など、内容は差別的言動が多い。

Q1 過去5年間で差別や人権侵害の体験がある人が約15%
場所は職場や地域など、内容は差別的言動が多い。

Q2 差別や人権侵害は誰から(どこで)受けましたか。

Q3 どのような差別や人権侵害を受けましたか。

差別や人権侵害は誰から(どこで)受けましたか。

どのような差別や人権侵害を受けましたか。

差別や人権侵害は誰から(どこで)受けましたか。

どのような差別や人権侵害を受けましたか。

3割の人が人権が尊重される社会になっていると思っていない。

Q4 今の鳥根県は人権が尊重される社会になっていると思いますか。

人権が尊重される社会になっていると思っていない人が約3割です。

Q5 あなたは、現在どんな人権課題に関心を持っていますか。

人権問題の解決に必要なことは「教育・啓発・広報を積極的に行う」が4割以上。

近年、LGBT等 性的少数者の人権、ヘイトスピーチの問題などの課題への理解・関心が高まっている。

Q6 性的少数者(同性愛、性同一性不安など)の人権について、特にどのようなことが問題だと思いますか。

Q7 ヘイトスピーチがなくなるには何が問題だと思いますか。

LGBT (Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender) などの性的少数者について、近年、社会的関心が高まっています。

ヘイトスピーチ(憎悪言動)は、特定の民族や宗教の人々を標的とする言動であり、社会的に許されない行為です。

「同和問題」について、6割以上の人々が結婚のときの差別を人権上の問題として認識している。

Q8 同和問題について、特にどのようなことが問題だと思いますか。

Q9 差別は、あなたの子供や孫が同和問題の人と知り合ったり、結婚したりしたら、あなたはどう思いますか。

Q10 差別は、あなたの子供や孫が同和問題の人と知り合ったり、結婚したりしたら、あなたはどう思いますか。

同和問題(旧差別)は、戦後、社会的に許されず、差別解消法(2007年)が制定されました。

同和問題 「土地差別」についての質問で、家の購入時に同和地区の物件を選ばない人が1/3以上となった。

Q11 仮に、あなたが家(住宅)を購入しようとした際に、価格や立地条件などが同等であっても、その物件が同和地区にあるとわかったら、あなたはどのようにしますか。

同和問題の解決に向けた主体的な考えが減少している。

Q12 同和問題の解決に対するあなたの考えは、どうですか。

同和問題の解決に向けた主体的な考えが減少している。

同和問題 同和問題の解決に必要なことは「教育・啓発・広報を積極的に行う」が4割以上。

Q13 同和問題を解決するために、どうしたらよいと思いますか。

同和問題の解決に必要なことは「教育・啓発・広報を積極的に行う」が4割以上。

同和問題の解決に必要なことは「教育・啓発・広報を積極的に行う」が4割以上。

迷信・風習に対する考え方と人権意識には関連が見られる。

Q14 迷信は「大抵」の目で見ないとダメだ」という考え方をどう思いますか。

Q9 仮に、あなたの子供や孫が同和問題の人と知り合ったり、結婚したりしたら、あなたはどう思いますか。

迷信・風習に対する考え方と人権意識には関連が見られる。

3人に2人は過去3年間、人権問題の研修を受けていない。研修により人権意識は向上する。

Q15 あなたは過去3年間の間に、人権問題に関する講演会や研修会などに何回参加しましたか。

Q16 結婚相手を決める時に、相手の身元調査をするという考え方について、あなたはどのように思いますか。

3人に2人は過去3年間、人権問題の研修を受けていない。

研修により人権意識は向上する。